

○四日市市長コメント

四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業について、本日、国土交通省から令和6年度予算での新規事業化が発表され、本市としても大変嬉しく思っております。これまでご尽力いただきました国、関係国会議員の皆様、関係事業者の皆様には心より感謝申し上げます。

四日市港の背後地域である本市臨海部は、暮らしを支える石油コンビナートが形成され、エネルギー関連や石油化学を中心とした産業が集積し、日本経済を牽引してきました。また、県内で最大の人口を抱える市街地が広がっています。

特に、四日市港石原・塩浜地区は、コンビナートと住宅地が近接しており、万が一津波や高潮による災害が発生すると市民の生命や生活に大きな影響を与えるおそれがあります。また、コンビナートが被害を受けると、本市のみでなく日本経済全体に大きな影響を与えるおそれがあります。

今回の新規事業化は、市民の安心・安全が確保されるとともに、本市の産業基盤である臨海部コンビナートの永続的な維持・発展につながるものと期待しております。

今後も国や県、四日市港管理組合、そして地域関係者とも緊密に連携し、一日も早く整備が完了するよう全力で協力して参ります。

令和6年4月1日

四日市市長 森 智広